

図書コンシェルジュ

各務原市立中央図書館

30周年記念特別号

令和3年7月21日

実は中央図書館開館30周年なんです

皆さまに支えられ中央図書館は、無事に30周年を迎えることができました。

また、図書コンシェルジュも10年以上続けることができ、この上ない喜びです。

これまでに「本の街かかみがはら」、「新緑ブックフェスティバル」、「マーケット日和」、「ビブリオバトル」、「電子図書館の解説」などを通して素敵な本たちとの出会いの場を提供してきました。

これからも利用しやすい、親しみやすい、本を楽しく読める魅力的な図書館を目指していきます。

30周年記念に選んだ本たち、今までに紹介した本たちをぜひ、ご覧ください。

〈おすすめの本たち〉

No.	ジャンル	書籍名	著者等	出版社	請求記号
1	一般書 (文学)	リバーズ	湊かなえ/著	講談社	913/ミ
2	一般書 (文学)	コドモノセカイ	岸本佐知子/編訳	河出書房新社	933/コ
3	一般書 (文学)	江國香織童話集	江國香織/著	理論社	913/エ
4	一般書 (文学以外)	まなの本棚	芦田愛菜/著	小学館	019/ア
5	一般書 (文学以外)	心を整える -勝利をたぐり寄せるための56の習慣-	長谷部誠/著	幻冬舎	783/ハ
6	児童書	日本気象協会 気象予報の最前線	深光富士男/文	佼成出版社	451/フ
7	絵本	いっぴきぐらしのジュリアン	ジョー・トッド・スタントン/作 いわじょうよしひと/訳	岩崎書店	E/イ
9	絵本	ルリユールおじさん	いせひでこ/作	理論社	E/ル



「リバース」

湊かなえ/著

講談社

一般書（文学）・913/ミ

ごく平凡な主人公に彼女ができ、ようやく人生に明るい兆しが見え始めたとき、二人の関係が大きく変わる事件が起こる。そのことは、主人公が忘れられない過去の出来事を思いおこさせた。主人公は、過去に起こった事故で亡くなった友人の死に恨みを持つ人物が関係しているのではと、関係者を調べることにした。

過去の事故と彼女の関係、過去の事故の真実を調べる主人公が辿り着いた真実とは。ドラマ化もされた人気の作品。物語に引き込まれ、ラストまで一気に読みたくなる一冊。いい意味で裏切られる、最後にあっと驚きを味わえます！

(対象 一般)



「コドモノセカイ」

岸本佐知子/編訳

河出書房新社

一般書（文学）・933/コ

本書は子どもにまつわる物語を集めたアンソロジーです。登場するのはひねくれている、変わっていたり、孤独をかかえていたりする、そんな子どもたちばかり。よくあるお話のように、結末では華々しい未来が彼らを待っているわけでもありません。けれど、どの作品を読んでも心が揺さぶられ落ちつかなくなるのは、子どもの頃に感じた苦しさと怖さといった感情が次々と湧いてくるからでしょうか。

どんな大人になっても、もう忘れたつもりでも、子どものころの感情や思い出は心のどこかに眠っています。そんな心のどこかにしまわれた特別なものがよみがえってくる、味わい深い短編集です。

(対象 一般)



「江國香織童話集」

江國香織/著

理論社

一般書（文学）・913/エ

タイトルに「童話集」とありますが、大人が読む童話、でしょうか。

恋愛小説でおなじみの江國香織さんですが、童話作家としてデビューした20代に発表された作品の短編集です。

愛犬との別れが切ない「デューク」、時を超えた不思議な恋愛を描いた「草之丞の話」、子どもの目線から老いをとらえた「鬼ばばあ」、日常の中にふと湧き上がる孤独に寄り添ってくれるような「ねぎを刻む」、純愛を貫いた結果に思わずぞくぞくしてしまう「桃子」。

子どもからお年寄り、時には動物まで幅広い主人公が描かれています。どれも繊細で、美しい奇譚の数々を味わってはいかがでしょうか。

(対象 一般)



「まなの本棚」

芦田愛菜/著

小学館

一般書（文学以外）・019/ア

あの人気子役だった芦田愛菜ちゃんは、今では高校生です。読書家で、年間100冊以上本を読む愛菜ちゃんのお勧め本の紹介です。

絵本、児童書、図鑑、SF小説、古典、海外ミステリーと、幅広く紹介しています。

本の紹介以外にも京都大学の山中伸弥教授・作家の辻村深月さんとのスペシャル対談で熱く本について語り合っています。

読み終わった後は、読んでみたいと思う本が数冊出てきて、読書の楽しさを再確認できる1冊になります。

(対象 一般)



「心を整える -勝利をたぐり寄せるための56の習慣-」

長谷部誠/著

新潮社

一般書（文学以外）・783/ハ

サッカーワールドカップ元日本代表のキャプテンが書いた本です。

心を整えることで、いかなる時も安定した心で常に力と結果を出すために、長谷部選手が行っていることは、「心を鎮める時間を作る」「整理整頓で心の掃除」「恨み貯金はしない」など56項目を実践しています。サッカー選手だけではなく、私たちにも当てはまるものばかりなので、是非、一読してはいかがでしょうか。

(対象 一般)



「日本気象協会 気象予報の最前線」

深光 富士男/文

佼成出版社

児童書・451/フ

集中豪雨、豪雪、最高気温の更新、爆弾低気圧…、めったに発生しなかった天候が次から次へと起きています。天候を予想し、国民の安全につながる気象予報とは何だろう、ふと、思うことはありませんか。

気象予報を出せるのは、「気象庁長官」の許可を受けたところであり、その数は1つではありません。また、警報・注意報を出せるのは気象庁のみで、他は独自に調査して天気予報を出しています。調査の元になるデータは、気象庁から入手するのですが、データ収集方法や読み取り方のスケールの大きさに驚かばかりです。気象予報の最前線で働く人たちは、国民に分かりやすい予報の情報を提供したり、生活に役立つ道具を開発したりと多岐に渡ります。読み進めると、「あ、これ知ってる!」といった内容に出会えるかもしれません。

他にも、興味を引く「このプロジェクトを追え!」シリーズも揃えております。世の中の動きを学ぶために、ぜひ手に取ってみませんか。

(対象 小学校高学年から)



「いっぴきぐらしのジュリアン」

ジョー・トッド・スタントン/作

いわじょうよしひと/訳

岩崎書店

絵本・E/イ

野ネズミのジュリアンは、一匹で気ままに巣穴の中で暮らしていました。地上の生き物はジュリアンを食べようとするし、地下の生き物は邪魔だと思っていたからです。

そんなある夜、ジュリアンを狙ったキツネが巣穴の窓に飛び込んで来ました。けれど、キツネの顔が窓枠にしっかりとハマって身動きが取れなくなります。ジュリアンは腹をたてながらもキツネを助ける羽目になり……。

キツネとの出会いでちょっとひねくれていたジュリアンが少しずつですが、変化して行く様がほほえましい物語です。

(対象 小学校中学年から)



「ルリユールおじさん」

いせひでこ/作

理論社

(絶版 現在は講談社にて刊行)

絵本・E/ル

舞台はパリ。路地裏の静かな通りにひっそりとルリユールおじさんの店はあります。

ソフィーが大切にしていた植物の図鑑がばらばらになってしまい、助言に従い、やっと探したのがこのお店だったのです。

おじさんの手によって、図鑑は修復され、生まれ変わっていきます。60もの工程を経て、世界で1つだけの美しい植物図鑑が出来上がっていくのと同時に、ソフィーとおじさんとの交流、おじさんとやはり製本職人だった父を思い出していく様子などが丁寧に描かれていきます。

実際に各務原市立中央図書館もボランティア様の手で丁寧に修繕して頂いた本が数多くあります。

この本を読まれた際に、そうした事にも思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。

(対象 幼児から)